

## グループ討論の議題について

各出席自治体から提供のあった以下の事例を中心に討議を行い、行政協力の現状と課題について意見交換を行ってください。

討論の時間（目安） 計 45 分

- ・ 該当自治体からの事例の紹介（約 10 分）
- ・ 紹介事例に対する意見交換・問題点の意見交換（約 35 分）

### グループ A

施設入所者が医療ケアが必要な状況となり、現在も入院が継続している事例  
（退院後、医療ケアが対応できる入所施設の確保に向けての取り組み事例）

### グループ B

1 年に数回、訪問・面接相談等を行い一定の関係性を築き、健康の維持・増進について、保健師の視点から情報提供や助言を行うことができている事例  
（医療機関やその他支援者と連携しながら、対象者の支援を行うことができています。また、今後何か困りごとがあった時に、保健師も支援者の一人として、活用されることが期待できる事例）

### グループ C

生活費・家賃管理が難しい被害者について、制度利用を行い家賃の代理納付を行うなど生活費の管理を支援するとともに、生活保護ワーカーと保健師と情報共有を行いながら、生活維持に向けて支援を実施している事例

### グループ D

障害福祉サービス利用者が、介護保険制度移行後にサービス量が減少することが懸念しているとともに、支援者である家族の定年退職等周囲の環境の変化もあり、家族も含めた生活支援が必要となってきたことから、関係者間で情報共有し、介護保険以降を見据えた支援の検討が必要となっている事例

### グループ E

本人の体調悪化に伴い医療ケアが必要となり医療対応施設に入所した際に、保健師が病院・施設訪問やカンファレンス参加、家族支援を実施している事例

### グループ F

行政協力依頼内容は障害福祉制度や介護保険制度等が多いが、食品衛生担当部局が窓口として担当するに当たり課題を抱えている事例（及び保健・福祉部門が窓口課を務めている自治体等の取組に関する事例）